テーラーメイド QOL プログラム開発研究センター

平成３１年２月１日発足

個人の健康状態に合わせたテーラーメイド QOL プログラムの確立へ

テーラーメイド QOL プログラム開発研究センターは、健康状態の改善と同時に SDGs の実現に向けてあらゆる人々の QOL (Quality of Life) を維持・向上させる画期的なテーラメイド・プログラムを国内外に発信することを目的としています。
医療費削減は喫緊の課題となっており、国の方針も「治療から予防・改善」といったコンセプトにシフトしています。人生の最後は長期間寝たきりになることが多いという現状から脱却し、QOL を向上させることにより健康寿命が延び、尊厳を持って元気に暮らせる社会を実現する必要があります。本プログラムにより、医療費の大幅な削減につながるだけでなく、高齢者のイメージを変え、社会における人的資本・知的資本の蓄積・活用を生み出すことを目指します。

礒田 博子センター長

センターのミッション

食・運動・睡眠を一体化した
テーラーメイド QOL プログラムの開発と拡充、ブランド化

グローバルな展開によって住民一人ひとりの QOL 向上を実現する

健康社会の実現

所在地： 〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2 国立大学法人筑波大学 高細精医療イノベーション棟

Tel 029-859-1593